

令和6年度
障害児・者とのコミュニケーション支援技術研修会
【 対面・集合型研修会 】

実 施 要 項 (受講申込方法)

1. 目 的 支援者のコミュニケーションスキルを向上させ、各種計画作成や支援の充実を図るとともに、あらゆる支援場面において利用者の意向に添った支援を実現していくことを目的とします。
2. 主 催 公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
全国障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)
登録番号:T1011105004999
3. 開催場所 全国障害者総合福祉センター (戸山サンライズ)
〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1
TEL 03(3204)3611 (代) FAX 03(3232)3621
4. 期 間 令和6年7月20日(土)～7月21日(日)
5. 対 象 者 各障害福祉サービス事業所の職員、その他障害者福祉に関わる者。
特別支援学校、特別支援学級の教員。
6. 定 員 70名 (申込状況により、定員を調整する場合がございます。)
※応募者多数の場合は抽選とさせていただきます。
7. カリキュラム 別紙1のとおり
8. 必要経費 ①研修費 15,000円(内、消費税0円)
※研修費・情報交換会費は研修会初日(20日)受付の際にお支払いください。
②情報交換会費(情報交換会は、初日の講義終了後に開催を予定しています)
3,000円(内、消費税0円)希望者のみ
◆上記金額には、軽食・ソフトドリンク代を含みます。アルコール類は当日会場にて別途販売予定です。
③宿泊費【1泊素泊まり・食事なし】
※宿泊費(希望者のみ)はチェックインの際に直接1Fフロントでお支払いください。
6,000円(内、消費税0円)【希望者のみ・個室・障害なし】
4,500円(内、消費税0円)【 ” ・個室・障害あり】
(宿泊費は、宿泊をする日数分ご用意いただきます)

- 全ての支払いは現金のみです。クレジットカード等は使用できません。
- 全ての経費の消費税は、第二種社会福祉事業につき非課税です。

9. 宿泊申込
- ・ 宿泊のお申し込みは本研修会の申込フォームからお申し込みください。
 - ・ 宿泊はご希望に添えない場合もありますのでご了承ください。**宿泊の可否については、受講者決定通知にてお知らせします。**
 - ・ 宿泊日をご確認の上、変更がありましたらお早めにご連絡ください。
 - ・ 研修会前日（7月19日）から宿泊（前泊）を申し込まれた方で、前泊をキャンセルする場合はお早めにご連絡ください。

10. 申込方法 戸山サンライズHP内の研修会のページからオンライン(宿泊も含む)でお申込みください。

※下記のQRコードからもお申込み可能です。



11. 申込締切 令和6年6月21日（金）必着

12. 受講決定 令和6年6月25日（火）頃、受講者決定通知を発送します。
(受講申込者宛てに受講決定・受講不可を問わず通知いたします。)

13. キャンセル キャンセルは申請フォームから承ります。
※キャンセルの際は、当センターHPの令和6年度研修会のページにキャンセル申請フォーム(URL: <https://forms.gle/smDHTpiZ5TF48rzy8>)を用意していますので、必要事項を入力の上送信してください。

14. 修了証書 全課程修了者には修了証書を授与します。
(欠席・遅刻・早退の著しい者には授与しない場合がありますのでご注意ください)

15. 合理的配慮 本研修会を申し込む際の事務手続き等において、配慮が必要な場合は、受講者側で手話通訳者・介助者等をご準備ください。研修会期間（研修会開始から終了まで）における情報保障（手話通訳、要約筆記、座席の確保等）の配慮が必要な方は、**6月18日（火）までに**申込フォームの「受講時における合理的配慮について」の項に必要な配慮の内容をお書きください。研修会期間のみ参加者全体に係る情報保障に関する費用は当センターが負担します。研修会期間の移動等に伴う介助者については受講者側でご用意ください。本協会が定めた「障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領」に基づいた範囲で適切な合理的配慮の提供に努めます。

16. 注意事項
- ・ 諸事情により、当日不参加となった場合でも後日ビデオ配信、音声配信等の対応は致しかねますので、ご了承ください。
 - ・ 講義のレコーディング（録画・録音）はご遠慮下さい。
 - ・ 本研修会のテキストは、研修初日の受付時にお渡しします。
 - ・ 途中退席、欠席の無いようお願いいたします。
 - ・ 研修のカリキュラム内容・教材・配布資料の無断転用・複製を禁じます。

【別紙1】

令和6年度
障害児・者とのコミュニケーション支援技術研修会
【対面・集合型研修会】

カリキュラム

| 講 義 名 | 時間数 |
|---|-----|
| 1. 障害のとらえ方 | 1.0 |
| 2. コミュニケーションを考える際に大切なこと | 1.0 |
| 3. 肢体不自由のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと) | 1.0 |
| 4. 肢体不自由のある人とのコミュニケーション の方法を考える (実践編) | 1.0 |
| 5. 発達障害のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと) | 1.0 |
| 6. 発達障害のある人とのコミュニケーションの 方法を考える (実践編) | 1.0 |
| 7. 知的障害のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと) | 1.0 |
| 8. 知的障害のある人とのコミュニケーション の方法を考える (実践編) | 1.0 |
| 9. 重度・重複障害のある人とのコミュニケーション (大切にしたいこと) | 1.0 |
| 10. 重度・重複障害のある人とのコミュニケーション の方法を考える (実践編) | 1.0 |

※講義時間・カリキュラムは都合により変更することがあります。